平成29年(2017年)12月発行

平成29年
(2017年)
冬号

大津・南部の農業

発行　滋賀県大津・南部農業農村振興事務所農産普及課　草津市草津三丁目14-75
●TEL 077-567-5421～5423　●FAX 077-562-8144　●メールアドレス ga35@pref.shiga.lg.jp
●https://www.facebook.com/facetoagri.o.n　●発行責任者　榎木　秀和

この印刷物は古紙パルプを配合しています

よく売れてます！　もっと作ろう！
みずかがみ

研修会の様子

「みずかがみ」は“おいしい”ことはもちろんのこと、すべてが「環境こだわり農産物」の栽培基準で栽培されており、誰もが認める“安心・安全なお米”です。そのおかげで消費者の皆さんからたいへんご好評をいただいており、非常によく売れています。

このため、流通業者から求められている需要量（注文）に対して、滋賀県からの供給量（生産）が全く追いついていない状況です。

近年、ここまでよく売れる品種は「みずかがみ」の他にはなく、今こそ、“攻めの米づくり”に転換し、農業者の皆さんの所得を向上させるまたとないチャンスといえます。

「みずかがみ」の本格的な作付が始まって５年、当課では農業者の方々をはじめ、JA、市など関係機関の方々との連携、協力のもと、品質や収量の安定、向上を目指して調査、分析を進めてきました。

その結果、当初から予想していた品種特性のすばらしさ（高温に強く、美しい外観品質）が確認できた一方で、さらなるステップアップ（収量向上、特A品質の確保）に向けた栽培技術上の課題解決の“糸口”も見えてきました。（施肥、栽植密度など…）

当課では、今後、これらの“糸口”をもとにして、農業者の皆さんが安心して「みずかがみ」を生産できるよう支援します。

イチジク栽培を始めてみませんか

滋賀県では果樹において、イチジク、モモ、ブドウ、ナシの４品目を重点に推進しています。農産物直売所や市場での地元産果実へのニーズは非常に高く、生産の拡大が望まれています。あなたも新たに果樹栽培を始めてみませんか？

1　イチジク栽培に挑戦しよう！

イチジクは、栽培が比較的容易で、女性や高齢者の方も取り組みやすく、直売所や市場での需要が高い品目で高単価の販売も期待できます。

栽培方法は、水田転換畑等での露地栽培のほか、水稲育苗ハウスの遊休期間や空きハウスを活用した軽量ポット栽培など、多様な栽培が可能で、稲作農家や園芸農家を中心に新たな複合品目として取り組まれています。

イチジク栽培においては、収穫直前の雨が原因で「腐り」が出ることが問題になっています。そのため、ハウス栽培や露地の簡易雨よけ栽培が注目されています。特に、ハウスで行う軽量ポット栽培は、挿し木２年目から成園並の収量が確保できるうえ、県が作成した栽培マニュアルのもと、栽培者が増えてきています。

簡易雨よけ栽培（露地）

軽量ポット栽培（ハウス）

2　新たなイチジク産地の誕生へ～「大津イチジク」が初出荷されました！～

大津市では、市農林水産課、JA、当課の連携のもと、イチジクの栽培を進めています。平成28年度より定植が始まり、２年目となる今年は７月下旬から10月下旬まで収穫され、地元の直売所を中心に出荷されました。販売されたイチジクは当日に完売するほどの人気商品でした。

今後は、「大津イチジク」の生産拡大を図ることで、安定的な出荷につなげていく予定です。新たなイチジク産地の誕生も間近です！

これらイチジクなど、果物の栽培に興味のある方はお気軽に当課までご相談ください！

300㎡ハウスあたりの収益

収　量	840kg
販売額	480千円
経　費	約210千円
利　益	約270千円

仏花ニーズに対応した中輪ギク栽培に取り組んでみませんか

輪ギク・小ギク・カーネーション・リンドウ・ヒサカキなどを組み合わせて結束された「仏花」を、お墓やお仏壇へのお供えに利用されている方も多いのではないでしょうか。

量販店などで販売されている仏花を製造する花束加工業者は、一般的には80㎝の長さのものを仕入れ、茎を40㎝に切り詰めて結束しています。この作業に手間がかかるとともに切り落とした茎葉は廃棄物となってしまうことから、仕入れ段階で仏花に見合った長さとなっている切り花の需要が高まっています。

関西の一般的な仏花

仏花の中でも、中心に据えられることが多い白色の中輪ギクは替えがきかない必要不可欠な花であることから、滋賀県では、短茎規格(55～65㎝)の中輪ギクの栽培を推進しています。

県農業技術振興センターが開発した「少量土壌培地耕」システムを利用することで、省力的に切り花を作ることができます。

お盆の需要に向けて栽培する仏花用の短茎規格中輪ギクであれば、定植を５月中下旬にスタートするため、水稲育苗後のハウスを利用した栽培をすることができます。本年、大津・南部地域でも、少量土壌培地耕を利用した中輪ギク栽培に取り組まれた生産者がおられます。電照を行って開花時期を調整することで、８月上旬の需要期に収穫することができました。収穫された花は、卸売市場を通して花束加工業者や地元直売所に出荷され、好評を得ています。

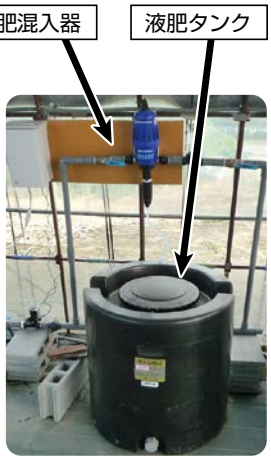
短茎中輪ギク栽培に興味を持たれた方は是非当課までお問い合わせください。

300㎡ハウスあたりの収益

収　量	10,800本
販売額	540千円
経　費	約280千円
利　益	約260千円

水稲育苗後のハウスを利用した
中輪ギク栽培

専用ハウスでベンチアップした
中輪ギク少量土壌培地耕



少量土壌培地耕の
給液装置

環境こだわり米をもっと生産しましょう

環境こだわり米の生産状況

環境こだわり認証制度は、化学合成農薬および化学肥料の使用量を慣行の５割以下に削減するとともに、水田からの濁水流出防止など、琵琶湖や周辺環境にやさしい技術で生産された農産物を、県が「環境こだわり農産物」として認証する制度です。

環境こだわり農産物認証制度で認証された水稲（以下「環境こだわり米」）の作付面積は、平成28年度には管内で1,477haと、過去最大となりました。しかし、水稲作付面積に占める割合では、表のとおり県全体の45%に対して、残念ながら当管内は29%にとどまっています。

一方、JAレーク大津の「はなふじ米」、JA栗東市の「こんぜ清流米」、JAおうみ冨士の「エコ冨士米」など、環境こだわり認証制度と連動したブランド米づくりもすすめられています。しかし地域限定的なものも多く、ネームバリューの向上のためには、環境こだわり米の作付面積をより一層増やすことで、地域のスタンダードにする必要があります。

表：大津・南部地域の環境こだわり米作付面積率

	H28こだわり米作付面積(ha)…A	H28主食用米作付面積(ha) …B	H28面積率(%) A/B
大　津　市	149.5	1,270.0	11.8
草　津　市	275.9	830.0	33.2
守　山　市	295.4	1,120.0	26.4
栗　東　市	84.4	416.0	20.3
野　洲　市	672.7	1,440.0	46.7
大津・南部計	**1,477.8**	**5,076.0**	**29.1**
滋　賀　県　計	**13,583.0**	**30,200.0**	**45.0**

環境こだわり米に取り組むためには

環境こだわり米の認証要件は、①化学合成農薬の使用が延べ７成分以下、②化学肥料由来の窒素成分量が４kg/10a以下で栽培したうえに、③「水田からの濁水防止、周辺環境に配慮した農薬使用」という２つの必須技術のほか、④「温湯消毒、緩効性肥料の使用、除草剤を使用しないほ場周辺の除草」などの技術のうち、選択技術を２つ以上実施する必要があります。

最近、効果の高い元肥一発肥料や初中期一発除草剤の使用が一般化しており、以前に比べて農薬や肥料の使用回数が少なくなったという方が多いかと思います。

次年度から環境こだわり栽培や「みずかがみ」の栽培に取り組みたいと考えている方は、当課をはじめ、JAや肥料商までご相談ください。

環境こだわり農産物
農薬・化学肥料
通常の5割以下
びわ湖にやさしい
滋賀県認証

表紙関連記事　環境こだわり栽培で活きる！ 期待の水稲新品種「みずかがみ」

本誌1ページで紹介した「みずかがみ」は、２年連続で食味ランキング最高位の「特A」に輝き、流通業者からも生産拡大を熱望されている本県期待の人気品種です。コシヒカリよりも熟期が早く、作期分散ができるメリットもあります。作付にあたっては、良食味・高品質米を安定して生産するため、環境こだわり農産物に認証されることが条件となっています。